

図書館との付き合い方、今と昔

阿部 泰明

昔と昨今の図書館の利用の仕方を比べてみる
とき、各種先端技術の導入によって便利になっ
たと思う気持ちと、月並みな言い方だが「古き
良き時代」を懐古する思いが不思議に絡み合
う。個人的には私は最先端技術の導入につい
ては大歓迎である。南山大学図書館に配備さ
れている図書検索サービスのシステムGEMMAの
恩恵を享受する者の一人としては、このシス
テムがより一層使いやすいものになっていくこ
とを願う。更には、大容量のパソコン向けメ
ディアが現われてきている現在（例えば光磁気
ディスクなど）、蔵書の全てとはいかないま
でも、研究分野の特定の領域の特定の年号の
部分個人でもパソコンでまさしく「パーソ
ナル」に検索できないものかと思う。言語学
の分野ではもっぱら800番台の図書を検索
することが多い。勿論、関連領域の文献を検
索する際にはこれ以外の番号の書架をおと
ずれることもある。しかし、大部分のものに
ついては、もし手元に800番台の蔵書リス
トがあれば用が足りてしまうのに、など
とつい考えてしまう。私が学部学生だ
った頃はまだ図書館にコンピュータは導
入されておらず、ひたすらカードカ
タログを探し、（幸運にもその大学
では開架式を採用していたため）書
庫を訪れては目指す本を探し求め
たものだった。今でも800番台の
書架の位置が鮮明に脳に浮かんで
くる。貸し出しの手続きも、本の裏
についている貸し出しカードに学
生番号を書いて返却期限のスタ
ンプを押してもらうという具合
であった。同級生の学生番号はだ

いた見当がついたので、「あ、あいつはもう
この本を読んでいるのか」とか「うん、僕が
これを借り出す最初の学生か」などと様
々な思いを巡らせながら本を借りるこ
うができた。1冊の図書館の本が、時
を越えて、その大学で勉強する学生
や教員の間に糸を張る。コンピュータ
による管理が進むとどうしても、そ
んな繋がりを図書館の本に求めるこ
とが筋違いということになってくる。
しかし私が留学していたアメリカの
大学の図書館のことを考えると、セン
チメンタリズムを捨ててもテクノロジー
を取る必要を認めないわけにはいか
ない。その図書館は20数階建ての
いわゆるライブラリタワーで、言語学
の関連図書はかなり上の階にあり
た。カードカタログは1階にしか
ないから、なにかの都合で上層階に
いるときに検索の必要が出たときは
、なかなか来ないエレベーターを
待って、1階に戻ってカードを
繰り、またエレベーターで上階に
戻るといった面倒な作業が要求さ
れる。名古屋弁で言うなら「えらい」
というところか。あの時コンピ
ュータの検索が各階でできたなら
どどれだけ助かったことか。そう、
やはり技術の進歩は偉大だ。こんな
風に思いを巡らせながらも、使
いこなれないIBMのキーボードに
向い、苦勞しながらキーワードを
入力し、やっと該当件数が表示さ
れると、無情にもゼロが並んで
いるときなどは、理不尽に全てを
コンピュータのせいにし、思わず
「この〇〇！」などと呟いてしま
う。

(Yasuaki, ABE : 外国語学部助教授)

〈文庫訪問〉

トヨタ博物館 《資料室》

1. 新名所

名古屋市街の雑踏を抜け、グリーンロードの視界が開けたところでジュラルミン色のドーム型建物が見えてきた。今回の文庫訪問は、今や名古屋の新名所として人気赤丸急上昇中のトヨタ博物館である。

トヨタ博物館は、2年前の1989年4月、「自動車の歴史を学び、人と車の豊かな未来を考えるため」につくられた。そこには、ガソリン自動車誕生からの100年が110台のくるまとともに体系的に見られるようになっている。

これら展示車両が博物館のメインであるの言うまでもないが、今回の訪問は“資料室”である。2階・3階の展示場へエスカレーターで上がりたい気持をグッと抑え、1階奥へと進む。

2. 資車一体

この資料室は、博物館開館と同時に開設され、館の目的と同様、歴史の見地から資料の収集・提供が行われている。特に、展示車両に関する資料の収集には力がいれられており、実車を見て、それを資料から更に詳しく知識が得られるようになっている。いうならば、資車一体。博物館全体が一つの目的でしっかりと貫かれていることが伺われる。しかし、古い車のカタログ等資料の収集には困難を極め、一部海外の自動車博物館からコピーを譲り受け穴埋めしていることもあるという。

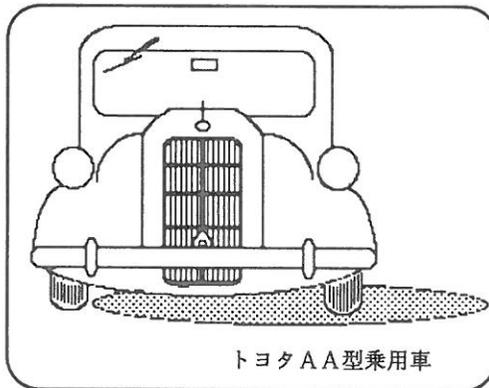
場所の関係からか訪れた人、全てがこの資料室を覗いているわけではないようであるが、一部のエンサー*1だけのものではなく、その当時の雑誌

を懐かしそうにながめる人もいるようである。これだけでも資料室の役割は、十分発揮されているといえる。もちろん、レファレンス・サービスも充実しており、日頃の疑問や質問をぶつければ、頼りがいのあるスタッフが即座に、あるいは調査して答えてくれる。

では、どのような資料があるか見てみよう。

140m²の室内には、内外の自動車に関する図書9,000冊、雑誌40誌が独自の分類のもとに整然と棚にならべられている。‘自動車史’‘自動車産業’がその中心で、欲しくてもなかなか手がでない豪華本など読まなくとも見るだけで楽しいものも多数揃えられている。収集の対象は、市販車が

中心となっており、日本車についてはトヨタ車に限らず収集しているところが、また嬉しいところである。よってF-1を頂点とするモータースポーツの分野にはあまり力がいれられておらず、新車情報といった分野も、自動車の歴史を学ぶという目的ゆえに対象からはずされている。ここの所蔵資料のうち約70%は欧



トヨタAA型乗用車

米からのものである。この構成もこれまでの自動車の歴史が欧米を中心に発展してきたことを考えると当然といえば当然である。

雑誌では、「CAR GRAPHIC」「NAVI」(二玄社)など本屋で売られているものから、自動車の創世期から権威のある雑誌として知られているイギリスの「AUTOCAR」(創刊号1896年から所蔵：なんとこれは災害時には展示車両よりも最優先

◆イベント情報◆

7月21日(日)まで「自動車の誕生-ハイウェイの時代-」と題し、第3回特別展が開催されています。馬車から自動車へどのように移り変わってきたのか、多数の模型やパネルで展示されています。

*1 エンサー (Enthusiast)

熱中者を意味する英語の略形。無類のくるま好きを称するが、おたくとは違う...と思う。

で、命をはって守らねばならない貴重な代物)といったものまで揃えられている。新聞では、自動車のギョーカイ新聞である『日刊自動車新聞』が1963年から所蔵されている。

また、ビデオは約100本。自動車工業振興会から譲り受けた‘交通安全もの’から、トヨタ博物館が毎年5月に開催している‘クラシックカー・フェスティバル’を撮影したものなどがあり、設置された4台のビデオを使って見るができるようになっている。

室内には、キャレル6、5人掛けのテーブル1が用意されており、腰を落ち着けての利用もできる。

3. 将来

これら資料は、年間1,000~1,500冊ほど増え続け、5年後には約15,000冊となり、ゆくゆくは独立した図書館として発展していく構想もあるそうである。

『満足のいくものができるには、あと2~3年かかる』と学芸員の鈴木さん。資料の収集から整理、利用者へのサービスと一人何役もこなさなければならない司書の江崎さんと柏本さん。3人のスタッフでの運営は、同業としても頭の下がる思いであるが、他に例のない資料室ゆえ、頑張っって欲しいものである。

利用案内

◆開館時間

9:30 - 16:30 (通常)

9:30 - 17:00 (4/20~10/31)

但し、入館は閉館のそれぞれ30分前まで。

◆休館日

原則として月曜日および年末年始

◆入場料

一般 1,000円 中高生 600円 小学生 400円

◆問い合わせ先

トヨタ博物館 TEL. 05616-3-5151

480-11 名古屋市外長久手町

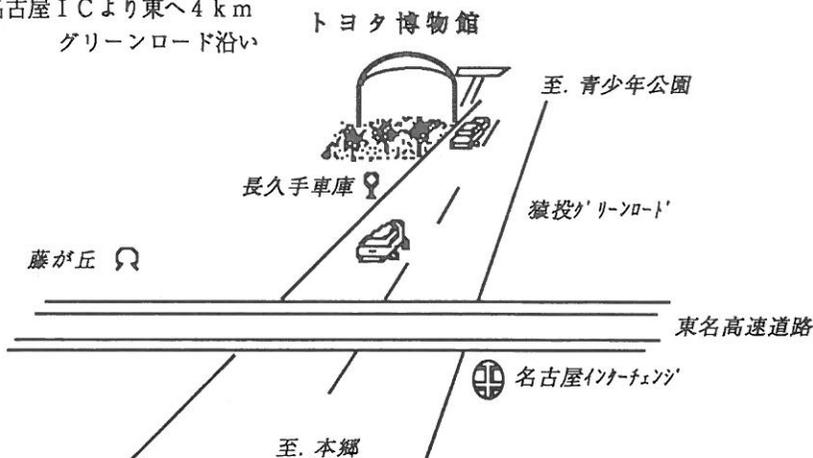
展示車をゆっくり見て、さらに資料室となると、とても一日では足りないほどのボリュームであるが、自動車大好き人間にとっては、こたえられない場所である。開館2年で約78万人が訪れ、運が良ければ100万人目というチャンスに恵まれるかも知れないガンリン自動車100年の歴史空間。ぜひ、ご体験あれ。

(システム係・笹山達成、三谷靖司)

交通案内

・ 藤が丘 → (名鉄バス) → 長久手車庫 → (徒歩5分)

・ 東名高速名古屋ICより東へ4km
グリーンロード沿い



〈GEMMA便利帳〉

悩んでいるあなたのための 「ワード入力法」 の巻

ある特定の本を探すのではなく、ある主題に関係する本を探す時、ワード検索は威力を発揮します。また特定の本を探す時でも、書名が長ければ書名検索よりもワード検索をした方が効率良く探すことができます。

GEMMA ----- < 目録検索 > ----- 91/05/22
 16:04:07

ワード : ワードはここだッ!

★ワード間 : AND, OR, NOT, ()

洋タイトル : ----- (4.3.2.2)

和タイトル : ----- (全角でブランクはつめて検索)

ワードの入力のしかた (和図書・和雑誌)

漢字形かヨミのローマ字形(ヘボン式・大文字)で入力します。ひらがなでは基本的には探すことはできません。漢字形については日本語として意味を持つ熟語単位で入力します。ただし漢字1字については、それが意味を持つ文字であっても探すことができないので注意が必要です。

では実際におさらいしてみましょう。

書名が 「まんがで読む日本経済史と株」

ヨミが 「MANGA DE YOMU NIPPON KEIZAISHI TO KABU」 の場合、

以下のワードから探すことができます。

日本	経済	経済史	日本経済
MANGA	NIPPON	KEIZAISHI	
日本経済史	まんがで読む日本経済史と株		
NIPPON KEIZAISHI	KABU	MANGA DE YOMU NIPPON KEIZAISHI TO KABU	

- ☆ 「MANGA」はOKだが、「まんが」はまずい。ひらがなは、書名がすべてひらがなで書かれている時しか探せない。もちろん、ひらがなを気を利かせて漢字で入力しても探せない。
- ☆ 「経済」はOKだが、「KEIZAI」はまずい。漢字形は日本語として意味を持ちさえすればいくらかでも細かくできるが、ヨミは与えられた区切り(この場合はKEIZAISHI)よりも細かくはならない。
- ☆ 「KABU」はOKだが、「株」はまずい。たとえ1文字で意味を持とうと、1文字の漢字では探せない。ただし1文字の書名の時だけは探せる。

... まだまだ奥は深い ...

GEMMAデータベース現況 1991.6.1現在
 (単位：書誌レコード数)

種別	図 書		雑 誌	
	洋図書	和図書	洋雑誌	和雑誌
内 訳	60,760	66,523	4,808	6,205
合 計	127,283		11,013	

(システム係・三谷靖司)

〈資料紹介〉

外国雑誌の記事索引

今回は外国雑誌の記事索引を紹介します。

雑誌記事索引は複数誌の論文記事の索引であり、論題・記事名・執筆者名・件名等から検索できるようになっています。また大別すると、いろいろな分野の雑誌の記事を広く収録対象とする記事索引と、特定の専門分野の雑誌記事だけを対象とするその二種類があります。

まず一般の雑誌記事索引を2誌紹介します。

[1] *Readers' guide to periodical literature* (請求番号: R/020/214)

これは米国の一般雑誌約180誌の記事を執筆者・件名等のもとにアルファベット順に配列した記事索引です。各号末に書評索引を別立てにしてあり、被書評者名のアルファベット順に配列してあります。

[2] *Poole's index to periodical literature* Reprint ed. (R/020/213/v.1~7)

19世紀に英米で刊行された学術雑誌の索引です。約500誌の記事を件名のもとに配列した雑誌記事索引で、オリジナル版は1882年に刊行され、その後5回ほど補遺も出版されました。本体と補遺で1802年から1906年までをカバーしています。オリジナルでは本体と補遺を全部で6回調べなければなりませんでしたが、リプリントは合冊製本されていますので使い易くなっています。最新の記事ではなく、19世紀の記事を調べたいときにはこの資料を使ってください。

次に特定の主題だけに限って編集された記事索引をいくつか挙げてみましょう。まず人文・社会科学全般については次の資料が役立ちます。

[3] *Readers' guide to periodical literature. Supplement* (R/020/215)

[4] *Humanities index* (R/020/215-1)

[5] *Social sciences index* (R/020/215-2)

[3]は1907年(つまり前記の[2]の収録対象年の翌年)に[1]のSupplementとして創刊された記事索引です。本体が前述のように一般的な雑誌記事を対象としているのに対して、こちらは学術的な雑誌記事を対象としています。創刊時の収録誌は74誌で、その後タイトル数も増加し英語以外の文献も収録されるようになりました。しかし第二次大戦により外国文献が脱落、更に他の専門分野の索引誌も創刊され始めたため、次第に人文・社会科学系の英文雑誌記事索引としての傾向が強くなりました。1920年以降2度ほど変遷(巻号・タイトル等が変わること)し、1965年からは"*Social sciences and humanities index*"となり、歴史・文学・小説等に重点が置かれるようになったのです。そして1974年より[4]と[5]の二誌に分離して現在に至っています。つまり[4]と[5]は[3]の継続誌なのです。

[4]は考古学・古典研究・地域研究・民族学・歴史・言語・文学・演劇・哲学・宗教等、主に人文科学の分野に関する英語で書かれた学術雑誌の記事索引となっています。1990年現在約350誌を収録しています。これに対して、[5]は人類学・政治学・法学・経済学・環境科学・社会学・国際関係・地理学・心理学等、主に社会科学の分野に関するそれとなっています。収録雑誌数はこちらも1990年現在で約350誌となっています。以上から[2]~[5]の資料を使えば、主題的には多少問題もありますが、1802年以降の雑誌記事については一応検索出来るわけです。

最後に、更に主題分野を限定した記事索引を2誌紹介しましょう。

[6] *Business periodicals index* (Z/330/B95)

上述の[3]~[5]で収録されていない会計・金融・企業・経営・保険・労働・貿易・マーケティング・広告等の分野の英文雑誌(約350誌)の記事を件名のアルファベット順で配列収録した記事索引です。

[7] *Index to legal periodicals* (Z/320/I51)

アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド等の法律関係の雑誌(約570誌)・年報・大学出版物・政府刊行物等の記事を収録した索引で、件名・著者名索引の他に判例一覧や書評索引が付けられています。法律関係の記事を調べたい時は、この資料を使うのが一番です。

以上が南山大学図書館に所蔵されている主な外国雑誌の記事索引です。外国雑誌の記事を探したい場合、是非これらの資料を上手に使ってください。今回はそれぞれの具体的な使い方は省略いたします。とにかく一度使ってみてください。わからなければカウンターで聞けばよいのですから。また和雑誌の記事索引については、「南山大学図書館報No.4」に紹介されていますのでそちらを参照してください。

参考資料:「情報と文献の探索」(015K/202)

Wilson社出版カタログ

(参考係・近藤幹夫)

〈外部データベース紹介〉

財務分析のデータベース

今や情報化社会。何か情報を収集する場合、図書や雑誌、新聞などというメディアだけをターゲットにしているのは古いのです。

そこで、今回は数あるデータベース(以下DB)の中から財務分析のメニューを紹介しましょう。

企業分析には財務データは不可欠です。その財務データを日経テレコンの下記パッケージ及びメニューで提供しています。

- (1) 経営情報
- (2) 総合版「財務分析」
- (3) ニュース・テレコン「有価証券報告書」

まず**経営情報**というパッケージを利用すると、全国企業の経営の比較、診断、評価など経営分析をわかりやすいグラフや図表で提供する14のメニューがあります。また、**総合版**の「財務分析」メニューでは全国上場企業の年度、半期、連結ベースの財務諸表、経営指標を時系列に見ることもでき、**ニュース・テレコン**の「有価証券報告書」メニューでは、全国上場企業を対象に貸借対照表、損益計算書などの代表的な財務諸表はもちろん、附属明細表も収録しているので満足していただけるものと思います。

また、海外の情報では、*DIALOG*の「DISCLOSURE DATABASE」(FILE100)が、12,500の株式公開会社の情報を蓄積したもので、過去5年間の貸借対照表、売上高・純益、株価収益などを含む財務情報が得られます。

では実際に国内企業の財務諸表を見たいとき、どのメニューを選択すべきでしょうか。3つのメニューの比較を表にまとめてみましたのでご覧ください。

	経営情報 [財務諸表]	総合版 [財務分析]	ニュース・テレコン [有価証券報告書]
収録社数	上場～店頭3,000社	上場会社2,000社	上場会社2,000社
収録項目	貸借対照表 損益計算書 利益処分内訳 注記	貸借対照表 損益計算書	会社の紹介 会社の沿革 貸借対照表 損益計算書 各種明細書 利益金処分計算書 損失金処理計算書 重要な会計方針 1株当り情報
収録範囲 更新	最大20年分 決算発表日の翌日、または 翌々日	1964年以降 決算発表日の翌日、または 翌々日	1988年以降 3月期決算会社の場合、その年 の11月頃
特 徴	総合版のメニューの項目に比べ 明細表がついているので基 本的な項目を時系列で一覧 できる。	基本的な財務諸表が時系 列で一覧・比較できる。	大蔵省印刷局によりデータを提供 されているので日経に入っ ていないデータもある。 特に注記事項は特徴的。
サービス料金	30円/分	30円/分	200円/分

これらのメニューを併用すれば詳細な数値データに裏付けされた企業分析が可能となります。

今回は財務分析のためのDBを紹介しましたがまだ他にも多数のDBがあります。

とにかくDBをうまく使うと、今まで時間をかけて収集していた情報が参考カウンターの前に座っているだけで集まってくるのです。これは便利だと思いませんか？

興味を持たれた方、他のDBに関して質問のある方、参考カウンターまでお越し下さい。

(参考係・後藤真貴子)

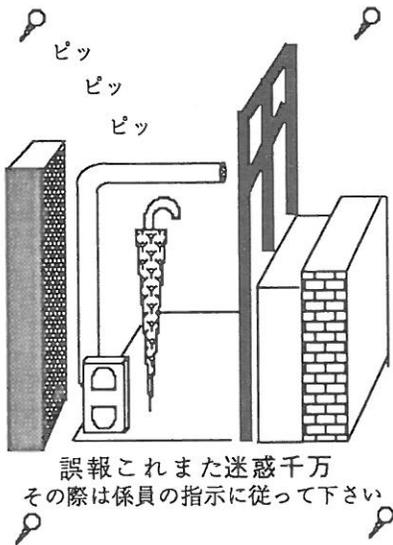
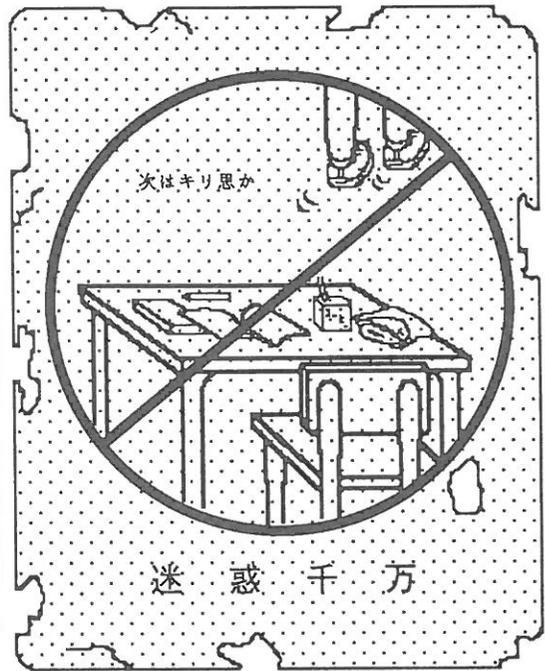
〈伝言板〉

寄贈図書紹介

岡部伊都子女史から著作25冊をいただきました。著者は、暮らしに息づく日本の伝統を細やかに綴る一方、美を侵す戦争、差別、環境破壊に対する筆の厳しさにも定評があるエッセイスト。

地下2階閲覧室、分類914（日本文学・随筆）の棚にあります。

ぜひ一度ご覧下さい。



蔵書移動のお知らせ

夏期休暇中に開架閲覧室、B2書庫の蔵書移動を行ないます。一部、本の配架場所が変わりますのでご注意下さい。

移動後の棚構成については、後日お知らせします。

今年も夏期長期貸出の季節がやってきました！！

7月9日（火）～7月26日（金）までの間、長期間、本が借りられます。貸出手続きの際、カウンターで“長期貸出で”と声をかけて下さい。

7月9日に借りると返却期限日は9月27日、7月26日に借りると10月11日となります。まとめてじっくり本を読むチャンスです。どんどん利用して下さい。

一般の貸出とは別に10冊まで借りられます

COMING SOON !!

アウシュピッツ展・予告編

1階入り口横、ブラウジング・コーナーで近日開催！ご期待下さい。

この夏お薦めする一冊

【新着図書から】

(整理係より)

=1

『道具と機械の本：てこからコンピュータまで』 デビッド・マコリイ作。岩波書店、1990。384p。
斜面を使ったマンモス狩りの方法からコンピュータ、ICカードなど、先史時代から現代にいたる人間の
開発してきた様々な技術・エンジニアリングの成果をタッチの良い絵でわかりやすく解説する。しかも内
容はハイレベル。誰が読んでも満足できるお薦め本。 <502K/238>

=2

『人工身体論：あるいは糞をひらない身体の考察』 金塚貞文著。青弓社、1990。172p。
排泄物や排泄行為について、みなさんは真面目に考えたことがありますか。醜いからといって目を背けて
はならないものがやはりあるのだ。自分たちの日常的行為を哲学的に問うこの一冊。必読！ <361.6K/989>

=3

『文学部唯野教授』 筒井康隆著。岩波書店、1990。304p。
唯野教授が文学批判の講義をしながら大学の内部事情を暴露していくという小説。教授になるためには手
段を選ばない人やエイズ菌を保持しているといううわさの教授も登場する実際にありそうな話で、この本
を読むと明日から教授を見る目が変わるかも知れない。 <913K/1816>

=4

『豊かさの精神病理』 大平健著。岩波書店、1990。248p。
グルメブーム、ブランド志向…。モノと情報が溢れる現代社会。「モノの豊さ」と「心の豊さ」は相反す
るものなのでしょうか。精神科医である著者のもとに相談に訪れた患者の話という、ちょっと変わった角
度から現代の日本社会を考察した一冊です。 <081K/2356-3/v.125>

=5

『"壁"崩壊後の世界：大転換期90年代のシナリオ』 磯村尚徳、NHK取材班著。日本放送出版協会、1990。285p。
大変革後のソ連を中心とした社会主義諸国の現状を経済の視点から取材した書。スターリニズムの崩壊に
よる政治体制の激変に比べ、市場経済への移行が容易ではない事がよくわかる。労働者の生活はずっと貧
しいままだ。 <302.3K/360>

【館員も読んだよ！】

1

『ヘヤー・インディアンとその世界』 原ひろ子著。平凡社、1990。493p。 <389.5K/329>

本書は、カナダ・ノースウエスト・テリトリーに住むヘヤー・インディアンと呼ばれる狩猟
採集民に関して行ったフィールド・ワークの報告書である。彼らは、苛酷な自然環境の中で、
「一人ひとりが自然（寒さ、飢え、獲物）と知恵くらべ（=競争）しながら、一人ひとりで生きている」
世界を創りあげている。自然と対立し征服しようとも、また調和を保ちつつ生活すべきとも考えていな
い。互いに協力関係は持つが永続的な組織（我々のいう「家族」も含めて）を持たない社会は現代日本の
対極にあるともみえる。しかし本書最大の魅力は、異文化理解や社会批評にとどまらず、人間の生と死の
はざままで我々も彼らと同じ地平に立っていることを、物語を読ませるようにもの見事に描き出している
点にある。人はどんなときに「一人である」と感じ、またどんなときに「人と共にある」と感じるか？自
分自身を見つめ直す意味でも一読を薦めたい。 (栗山 義久)



2

『アメリカン・ウェイ・オブ・ライフ』 アシェル・モンタギュー著。山口書店、1988。205p。 <302.5K/419>

この本は、あるアメリカの人類学者のエッセイ集である。題材としては「古書店」「ニューヨークの市バ
ス運転手」「クリスマス」といった、ありふれた日常の生活風景をとっている。

これらのエッセイには、人が、人間としてその一生を生きる上で、本当の幸せに出会うためのヒントが、
さりげなくあちらこちらに散りばめられている。人類学者だけあって、人間の本質を見る力を持っているよ
うだ。しかも、軽やかな調子で書かれているため、読者は構える必要なく、すんなりと受けとめることがで
きるのも良い。

実は、これらのエッセイはおおよそ30年から40年前にかかっている。いわゆるアメリカの“古き良き時代”
のものだが、不思議な程、まったく時代を感じさせない。おそらく、時代の移り変わりに左右されない普遍
的なものを、作者が見抜いていたからだろう。

無心でいられる夏休みに、空っぽの心で読んでいただきたい、おすすめの一冊である。(米田 美絵)

〈ライブラリアンズ・ハート〉

無題

大学図書館員とは利用者（主に学生の皆さん）にとって、一体どんな印象を持たれているのだろうかと思ふと思う時がある。

カウンターで本の貸出・返却というのが、外から見た図書館員のイメージではある。が、どこの大学図書館でも館員の半数以上は、いわゆる管理部門と呼ばれている業務を担当しているはずである。サービス部門が利用者と直接に接する“表”とすれば管理部門は“裏”又は“奥”の仕事といえよう。資料の注文や、そのデータを作成したりはもちろんのこと、お金を支払うという一見図書館らしくないと思われる業務まで、その内には含まれている。

管理部門の担当者は、一日の大半の時間を端末に向かい、資料のデータを入力するという無味乾燥で非人間的な仕事を日々、淡々とこなしている。そんな姿は、自分自身が、学生時代に描いていた“図書館の人”というイメージからは随分かけ離れている様に思う。適当に暇な時間もあり、図書館の本の一冊でも読めるのではないかという考えも持っていたのである。

又、管理部門者が、利用者と接する機会は少なく、ライブラリー・ツアーやGEMMA講習会、日々交替で担当している4：30からの貸出・返却業務くらいである。

ツアーで、素直に書庫の広さに驚く新入生や、講習会で端末操作に慣れてくる利用者に接したり、又は、自分がデータを作成した資料が貸し出されたり、...等々。そんな些細なことでも嬉しくなる図書館員は、私だけではないだろう。毎日自分のこなしている一見、殺風景に思える仕事も、最終的にはきちんと利用者のところに届いているのだという確信が、裏方の仕事に活力をあたえてくれるのだと実感している。



(逐次刊行物係・榊原 素子)

AMUSEMENT図書館

図書館を利用していますか？勿論少なくとも本を1冊ぐらいいは借りたことがあるだろうし、そうでなくてもホテルのロビーよろしく待ち合わせくらいには使ったことがあるかと思えます。そんな馴染みの薄い図書館、こんな事は知ってますか。

まず「びあ」がはいっている。もちろんこれは図書館らしく発売日の次の日、金曜日にしか見ることが出来ません。その他にも雑誌類は古いのも含め、一万強のタイトル数があります。その大半は学術誌ですが、その中にも愛読雑誌、暇つぶし雑誌が見つかるかもしれません（過度の期待は禁物）。次にB2書庫の電動式移動書架。これはあの長い棚が動くのですが、この姿は「十戒」でモーゼが海を二つにするシーンを思い起こさせます。また閉まりつつある棚の間を通り抜けるという「スパイ大作戦」の気分も味わうことが出来ますが、危険なので絶対しないで下さい。さらにはグループ閲覧室。これは3階にあります。「3階！それってどこ？」と言われそうですが、図書館中のどのイスより良いイスがありカウンターで申し込めばゼミの予習でも討論会でも人目を気にすることなく出来ます。もうひとつ、図書館内でのコンピュータ端末。本当にいろいろあるけれど、GEMMAが使いこなせれば“鬼に金棒”50万冊の図書館の本を掌に納めたのも同然です。

このように図書館は今や黒い腕カバーをした人が羨めしく本を貸すのではなく、使えば使うほど楽しめるAMUSEMENTなのです。その中、図書館員は“図書館を使い図書館利用のセミ・プロになってもらえたら”と大それた希望をもって働き、出来る限り力にと思っています。

こんな図書館どんどん使って下さい。2階の閲覧室から見る名古屋の夜景はとってもしきれいだと思付くかもしれません。



(閲覧係・石井 知好)

ライブラリーカレンダー
1991.7～1991.9

7 月					8 月					9 月				
9:00		3:30		6:30	9:00		3:30		6:30	9:00		3:30		6:30
0:00		4:30		長	0:00		4:30		書	0:00		4:30		書
1(月)					1(木)					1(日)				
2(火)					2(金)					2(月)				
3(水)				★	3(土)					3(火)				
4(木)					4(日)					4(水)				★
5(金)					5(月)					5(木)				
6(土)				★	6(火)					6(金)				
7(日)					7(水)					7(土)				
8(月)					8(木)					8(日)				
9(火)				★	9(金)					9(月)				
10(水)				★ ★	10(土)					10(火)				
11(木)				★	11(日)					11(水)				★
12(金)				★	12(月)					12(木)				
13(土)				★ ★	13(火)					13(金)				
14(日)					14(水)					14(土)				
15(月)				★	15(木)					15(日)	敬老の日			
16(火)				★	16(金)					16(月)	振替休日			
17(水)				★ ★	17(土)					17(火)				
18(木)				★	18(日)					18(水)				★
19(金)				★	19(月)					19(木)				
20(土)					20(火)					20(金)				
21(日)					21(水)				★	21(土)				
22(月)				★	22(木)					22(日)				
23(火)				★	23(金)					23(月)	秋分の日			
24(水)				★ ★	24(土)					24(火)				
25(木)				★	25(日)					25(水)				★
26(金)				★	26(月)					26(木)				
27(土)					27(火)					27(金)				
28(日)					28(水)				★	28(土)				★
29(月)					29(木)					29(日)				
30(火)					30(金)					30(月)				
31(水)				★	31(土)									

：開館時間

長:夏期休暇中長期貸出取扱期間

書:3・4年次生書庫入庫日(水曜pm 1:00～4:30, 土曜am 9:00～11:30)

GEMMA講習会、文献探索講習会は、10月より再開します。

《編集後記》

いよいよ夏本番!

海に山に海外に、楽しみはつきない。

えっ、卒論が大変だって、図書館はこの夏も応援します。

(T.S)

(タトル'ザ'イ:平松富美)



南山大学図書館報 デュナミス No.10
1991.7.1.発行

南山大学図書館 広報委員会
編集委員:鈴木、山辺、笹山
〒466 名古屋市昭和区山里町18
Tel. 052(832)3707
Fax(G3) 052(833)6986